

令和5年 第5回 伊丹市教育委員会 定例会 会議録

1. 日 時 令和5年（2023年）4月21日（金）午後2時00分～午後3時20分

2. 場 所 伊丹市役所 2階 教育会議室

3. 出席者 <教育委員会>

教育長	木下 誠	教育委員	瀧川 光治
教育委員	太田 洋子	教育委員	西岡 奈美
教育委員	二宮 叔枝		

<事務局>

教育総務部長	宇谷 敏幸	こども未来部長	馬場 一憲
職員課長	福本 恭	こども室長	牧村 達也
職員課主幹	浜野 匡	こども若者企画課長	岸本 哲也
学校教育部長	廣重久美子	生涯学習部長	浜田 律子
学校教育部副参事	伊藤 公男	生涯学習部参事	田原 安治
学校教育部副参事		社会教育課長	中田美智世
兼中学校給食センター所長	鴨川 憲之	スポーツ振興課長	秋田 博之
学校指導課長	日外 亮	図書館長	中田 正仁
学事課長	奥田 義昭	人権教育室長	中井 秀典
総合教育センター所長	山下拓志郎	教育政策課長	西原美絵子
保健体育課長	宗野 伸哉	教育政策課主任	中井亜里紗
		教育政策課	御影 陸大

4. 欠席者 なし

5. 傍聴人 1名

6. 議 事

(1) 開会宣言 木下教育長（午後2時00分）

(2) 日程報告 木下教育長より次のとおり会議を進める旨の発議があり、全委員はこれを了承。

日程第	1	令和5年第4回定例会会議録の承認
日程第	2	教育長報告
日程第	3	報告第3号の承認（専決第4号）
日程第	4	報告第3号の承認（専決第5号）
日程第	5	議案第22号の審議
日程第	6	議案第26号の審議
日程第	7	報告第3号の承認（専決第6号）

- 日程第 8 報告第3号の承認（専決第7号）
- 日程第 9 報告第3号の承認（専決第8号）
- 日程第 10 報告第3号の承認（専決第9号）
- 日程第 11 報告第3号の承認（専決第10号）
- 日程第 12 議案第23号の審議
- 日程第 13 議案第24号の審議
- 日程第 14 議案第25号の審議

木下教育長より「日程第7から日程第14につきましては、個人情報を含むため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき非公開としたいと思いますが、よろしいですか」との発議があり、全委員はこれを了承。日程第7から第14は非公開の秘密会となる。

(3) 令和5年第4回定例会会議録の承認（日程第1）

第3回伊丹市教育委員会定例会（令和5年（2023年）3月17日（金）開催）会議録については、全委員一致でこれを了承。

(4) 教育長報告（日程第2）

教育総務部の「4月人事報告」・「3月分教育施設関係工事の着工・竣工報告」・「3月分の寄附採納報告」について、学校教育部、こども未来部、生涯学習部、人権教育室及び市立伊丹高等学校の「3月分行事实施報告」・「5月分行事实施予定」について、それぞれ説明があり、質疑応答の後、全委員一致で「教育長報告」を承認。

質疑応答

太田委員

4月以降、臨時講師が不足している等の問題が報道されているが、本市においてはその辺りは無事解決したのだろうか。

職員課長

今年度については、欠員はほとんどいない。小学校は今のところ全員配置している。中学校の非常勤は少し欠員があるが、昨年と比べると格段に減っている。

太田委員

配置できたとしても、経験のない臨時講師が担任を持たざるを得ない等、色々な状況がある。今年度から研修履歴を書くよ

うになるため、教職員の育成という点で、研修や学校訪問での指導等を行う必要がある。また、非常に臨時講師が多い学校もあるが、それについてはどうだろうか。

職員課長

臨時講師で、既に教員経験がある人材が非常に少なくなっている。未経験者や、大学生から社会人になったばかりの人材が多く見られる。また、県全体で言うと、臨時講師の懲戒処分も、年々増えている。その方々については、別途研修を行っている。このようなことを重ねながら、講師の質を上げていきたい。

太田委員

学校でのOJTも含めて、よろしくお願ひしたい。幼稚園や保育所はどうか。

こども未来部長

保育所については、国基準はクリアしている状況だが、各園2名ずつほど欠員が出ている。引き続き募集はかけているが、追加というのは今回に限らずなかなか難しい。昨年、任期付保育士を20名募集したが10名程しかきていないため、引き続き今年度に採用するという方針で、少しでも確保できるように進んでいきたい。

太田委員

免許を持っていても教員にならない人も多いので、そのあたりの発掘が大事。免許を持っていて教員になりたい人への研修や講習なども含めて考えていかないと非常に大変な状況だと思う。やはり人が足りていないことが職員の負担が増えるのでよろしくお願ひしたい。児童くらすはどうか。

こども未来部長

児童くらすの方も、やはり欠員が出ている状況だ。ただ、スポットで入る職員で埋めているという状況になるため、手数が足りないということにはなっていないと考えられる。引き続き職員を確保しつつ、今年度から処遇改善を行っているため、そういった魅力的なこともPRしながら、1人でもたくさんの方が来ていただけるよう努めたい。

太田委員

教員免許を持っていても教員にならないことや、そもそも教員免許を持っている人が足りないこと等が、社会問題になって

いる。本市は都市部といえども考えてやっていかないといけないと思う。あと、教育総務部でもう1点伺いたい。以前は松崎中学校のテニスコートを、地域の方が借りていたが、今回は学校専用という形になっているのだろうか。

教育政策課課長

新しくできたテニスコートは地域の方も使っていただけるような形になっている。

太田委員

では、部活で使わない時のコーディネートは地域が担当しているのか。

教育政策課課長

スポーツ振興課等も連携しながら地域で担当している。また、倉庫や駐輪場も設置している。

こども未来部長

おそらく今回新しく移転をしたということであって、運用についてはこれまでと変わらないような形になると聞いている。より進んだような形があるのであれば、今後協議もしながら変わっていくかもしれないが、基本的に従前と変わらない形。

太田委員

私も見ていないので、また見に行こうと思う。前のテニスコートはなくなっているのか。

教育政策課課長

前のテニスコートは、更地にして3月末にオーナーに返した状況になっている。

太田委員

また、以前に新井先生を講師に「生徒指導提要」に関する研修会を実施してもらいたいとお願いしていたところ、学校指導課から実施すると聞いたが、間違いはないだろうか。

学校指導課長

新井先生にもその旨を伝え了承を得ており、日程調整をしている。

太田委員

それは一般職向けなのか管理職向けなのか。

学校指導課長

打ち合わせが4月後半にあるため、そのようなこともそこで

決めていきたい。

太田委員

これは要望だが、座長として「生徒指導提要」を中心に作成したのが新井先生である。例えば、実施の際に zoom で学校へ配信したり、その日が無理な学校には DVD を配布したりする等、全教員が受講可能な研修にしてもらいたい。

学校指導課長

まず、校長先生方に研修を行う。ビデオ撮り等については、今後話し合いを進めていきたい。

学校教育部長

今のビデオ撮りについては、校長先生に見ていただいているところを撮影し、教頭先生に見ていただくところまで考えていたのだが、今いただいた意見を受けて、他の先生にも見ていただける内容で校園長所長会で話していただくというようなことも考えられる。

太田委員

先生は忙しい状況もあり新しい情報が入り難い。せっかくの機会なので、夏休みに組み込む等お願いしたい。また、総合教育センターのマイスターは、将来の指導主事候補の育成としてとても大事だと思う。そういう人を選んでいただき、きちんと指導して、学校現場で指導ができるような人材の育成も進めていただきたい。

木下教育長

今の進捗状況はどうだろうか。

総合教育センター所長

今年度も昨年度と同規模で、18名のマイスターを予定している。今のお話を受けて、進めて参りたいと思う。

二宮委員

指定寄付とふるさと寄付、教育振興基金のところで、支援基金が、昨年度 1000 万円ほどあり、それぞれの使い道は分かっているが、他にどのようなことに使われたのか。

教育政策課課長

教育振興基金の使い道ということか。

二宮委員

教育振興基金と子育て支援基金の使い道をお伺いしたい。令

和4年度末残高は、それぞれ5800万円と5100万円程ある。

教育政策課課長

まず教育振興基金の使い道だが、学校部活動の大会出場助成金といったものがある。運動部、文化部が大会に出場するときに交通費の半額と出場費を助成金として交付するというような事業だが、そちらに600万円程使っている。他には、なぎなたの選抜大会に250万円、ことば蔵開館十周年事業で21万円程使っている。また、スポーツ振興課でヴィッセル神戸サッカースクール事業というものをしており、そちらで30万円程使っている。子育て支援基金の使い道は、ひかり保育園の大規模改修で、完全給食を始めるための設備を整えるために使っているが、今手元に資料がないため、詳しい金額はお答えできない。

こども未来部長

これからのお話としては、昨年度1,000万をいただいた方、元々寄付者は「バスの安全装置でお願いしたい。カメラがついて欲しい」とお話ししていた方だが、それは国の補助がでることになったので、それ以外のことに、私立も含めた各就学前施設の方で、安全の確保のために使っていただきたい。カメラでもいいし、幅広く選んでいただけるような仕組みとして使わせていただこうと考えている。改めて来週寄付者の方にもお話ししながら、その安全に対して1園10万円ぐらいの補助で、カメラやマットというようなものになると思っている。

木下教育長

私立も含めて、就学施設全部で89もある。

こども未来部長

保育所幼稚園等に加えて、児童福祉施設も含めて対応させていただくということで考えている。

二宮委員

今年度の当初予算に載っていたものだろうか。

こども未来部長

6月補正で考えているところだ。当初予算の方は散髪屋さんの件で玩具や遊具を買ってほしいということだった。

太田委員

部活の地域移行がいよいよ始まるが、どんな体制でされてい

くのか教えていただきたい。

保健体育課長

今年度実証事業として、1 中学校、1 部活動、合計で 8 部活動を予定している。指導者については、1 名で指導するという事はかなり難しいのではないかというご意見をいただいているが、財政と協議をした結果、実証なので、やっていく中でやはり難しいということであれば、令和 6 年度以降に要求していきたい。

学校教育部長

事務局に配属する人がいなくなった分、8 部活動なので、事務局の方で、部をまたがって事務を分担しながら、1 年目はやっていく所存だ。

太田委員

プロの人を探すのではなく、土曜学習のような形で保護者などに見てもらい、子どもの安全性だけでも確保することも一つあるのではないか。それほど集められないとは思いますが、専門家ではなくやる気のある人でもよいのではないか。先日 AI スマートコーチというアプリを送ったが、そのようなものを活用しながらやっていく等、柔軟に考えていかなければいけないと思う。そのあたりはいかがだろうか。

保健体育課長

指導者の一定の質の確保も必要だと考えているため、誰でもいいというわけではないと思っている。だが、余りにもハードルが高いと指導者の確保も難しくなってくるのでそこについてはまた協議したい。

太田委員

そのようなことも含めて、実証実験なので実験していき、他の市の情報等も得ながらやっていかないといけない。また、パソコンの時のように移行連絡が突然来る可能性もあるため、そのあたりの準備や調査はしておいてもらいたい。いよいよ今年から始まるため、私たちもできるだけ、学校の話聞き、この地域移行に関する協議会に出席し、何か要望があればできるだけお伝えしたいと思う。

二宮委員

先日、コミュニティ・スクール研修に出ていたのだが、土曜

学習も専門家でないといけないといった旨のチラシが配布されていて、非常に参加のハードルが高いと感じた。土曜学習に求める人材はどういうものなのか。

社会教育課長

土曜学習のボランティアの方法も様々あり、土曜学習教育推進員という方については教員免許を持っているか、あるいは専門的な知識があるか等が挙げられる。それ以外にも、委託の方、あるいは大学生のボランティア、学校保育のボランティア、あと保護者の方も、運営ボランティアとして入っていただき、様々な方のご協力をいただきながら運営している。

木下教育長

運営ボランティアと講師は別だ。講師については、企業や専門性を有したコーディネーターが実施内容を計画している。以前からハードルが高くなったということではなくて、もっと親しみのあるものにしていかないといけない。やはり私は、子どもの居場所の確保や、学ぶことの楽しさを覚えてもらうといった魅力づくり的なものをやっていただきたい。いつから動き始めるのか。

社会教育課長

早い学校だと4月から動き始める。

木下教育長

これも各月毎にこまめに進捗管理していかないといけない。

二宮委員

それについては、数の問題だけではなく、何をするのが大事だと思っている。中学校に関しては、家庭学習の延長上でおこなうだけでなく、もう少し幅広くてもよいと思う。

木下教育長

それにも色々なやり方がある。学校長とコーディネーターがプログラムについて相談し、ユニークなプログラムが組まれているところがたくさんある。それは小学校が多い。でも、言われたように中学校は、家庭学習の延長のような、自学自習できないから土曜学習で行うというようなことが多いと聞いている。そのようなことをもっと中学校で行ったらいいのではないかというのが、二宮委員の意見だと思う。そのあたりは、また検討していきたい。あまりハードルを上げすぎず、効果がある

ように、また、3つの目的を達成できるように、頑張っていきたい。

二宮委員

図書館について、貸出密度が全体的には目標の95%を超えており、特に問題は無いと思うが、全国的に見て伊丹市の貸出密度は高いのだろうか。

図書館長

貸出密度については全国レベルで見ると、伊丹の7.7冊は高いレベルにある。ただ阪神間とかで見ると、8冊を超えているような市もあるので、伊丹市も8冊というのを1つの目標にして進めている。

二宮委員

他市と比較するためにも必要な数値なのだろうが、そもそも貸出密度を数値目標化する意味は何だろうか。

図書館長

図書館に関する指標というのは、蔵書の回転率や貸出密度等色々あるが、伊丹市で特に目標としているのは、貸出密度だ。都市部は比較的貸出密度が高い。一方、地方になると低くなるという傾向があるが、阪神間は高い方であり、できるだけ増やしたい。

二宮委員

本屋さんのない県があると少し前に全国的に話題になったが、本当に本を読む人口が減ったのか。

木下教育長

読書活動の充実は伊丹市の大きな目標だ。貸出密度の7.7に人口を掛けると、それが貸出冊数ということになる。それを上げないといけない。つまり、市全体で160万冊。8冊だったらそれだけ読まないといけない。その上で、大人や子どもなど、様々な層をターゲットにして、どの層をどの程度伸ばすべきなのか、具体的な計画を作らないといけない。成り行き任せでは、横ばい状態が続くどころか、むしろ減少傾向を辿る。文字離れが進んでいることからそこにも目を向けなければならない。

(5) 報告第3号の承認(専決第4号)(日程第3)

木下教育長より、「報告第3号「教育長の委任事項並びに専決事項に関する規則第2条第2項の規定による専決処分報告について」の専決第4号「就学困難な児童および生徒に対する就学奨励についての援助に関する規則の一部を改正する規則の制定について」を議題とする旨の発議の後、「緊急を要したので専決処分により処置したものです。」との説明がなされ、学校教育部長より補足説明があり、全委員一致で、「報告第3号」の「専決第4号」を承認。

(6) 報告第3号の承認（専決第5号）（日程第4）

木下教育長より、「報告第3号「教育長の委任事項並びに専決事項に関する規則第2条第2項の規定による専決処分報告について」の専決第5号「伊丹市特別支援教育就学奨励費支給規則の一部を改正する規則の制定について」を議題とする旨の発議の後、「緊急を要したので専決処分により処置したものです。」との説明がなされ、学校教育部長より補足説明があり、全委員一致で、「報告第3号」の「専決第5号」を承認。

質疑応答

木下教育長

専決第4号の就学援助については、学用品費と修学旅行費、共に金額が上がっているが、専決第5号の特別支援教育就学奨励費については、オンラインだけである。これは何故か。

学事課長

国の方での改正がなかったということである。

木下教育長

国が何故やらないのかを聞きたい。

学事課長

毎年調査をした上で価格設定しているため、実際に増額というものが、数字上出なかったというものと認識している。

木下教育長

学用品費の物価は上がっている。特別支援就学奨励費は上がっていない。就学援助については上がっている。その辺りが分からない。

学事課長

国の方で額が出るのは4月だ。市の方の奨学奨励費であっても改正するのは翌年になる。今回改正したのは令和4年。令和3年度の実績に基づいて改正されているため、物価高騰がまだ入っていない状況である。

木下教育長 一般の就学支援事業と特別支援教育就学奨励事業とでは、何故違うのかが分からない。国に基づいてやっているから仕方ないのだろうが、そこに疑問は感じる。

学校教育部長 所得の基準が違うのでは。

学事課長 就学奨励費は就学援助の所得制限よりも上限額が高くなっている。伊丹市の就学援助の所得制限は生活保護法の保護基準額の1.16倍である一方、就学奨励費は2倍になっている。

(7) 議案第22号の審議（日程第5）

木下教育長より「伊丹市教育委員会傍聴規則の一部を改正する規則の制定について」を議題とする旨の発議の後、「所要の規程整備を行うため」との説明がなされ、教育総務部長より補足説明があり、全委員一致で、「議案第22号」を可決

(8) 議案第26号の審議（日程第6）

木下教育長より「令和6年度（2024年度）使用伊丹市立学校教科用図書の採択方針について」を議題とする旨の発議の後、「令和6年度（2024年度）伊丹市立学校で使用する教科用図書の採択方針を定めようとするものです。」との説明がなされ、学校教育部長より補足説明があり、全委員一致で、「議案第26号」を可決

質疑応答。

太田委員 デジタル教科書は、今年度も英語と理科算数のどちらかなのか。

学校指導課長 今年度は、全小中学校に英語は取っており、あと半分については数学算数である。

太田委員 今度メクビットで英語の全国学力が入っていて、メクビット、デジタル教科書、ドリルパーク等様々あり大変だ。やはり、将来的には学習 e ポータルでシステム上一本化していかないといけないと思う。その辺りは何かお考えがあるか。

学校教育部副参事 文部科学省から国の方針が出されるため、これから対応していくことになる。伊丹市の学校教育の情報化計画は、令和元年度に計画したものだが、それが5年計画なので、今年が最終年度にな

る。今年度は、令和6年度からの5年計画を策定しようとしている。その中で教育のDXをどこまでできるか。生徒と教職員のICTを活用した学習指導の強化と学力の向上。もう一つは、教職員の校務の効率化。大きくこの2点をポイントとして計画を立てていきたいと思っているが、学校のデジタル教科書は、令和6年度も英語のみと聞いている。今後、国の動向を注視しながら、子どもにとって一番どういった形でやっていくのがよいのかというところを、夢を描きながら、今年度計画を立て、それに基づき財政等に予算も要求しながら、更新時期を迎える令和2年度に出した1万8000台ぐらいのタブレットも含めて、5年間の方向性を示していきたい。

太田委員

これからの未来を考えたときに、子どもには学習eポータルでできるだけ使いやすい環境を与えなければならない。教員もクラウド上にしながらゼロトラストシステムの構築をしなければならない。また、現在、学習の部分と管理の部分とがバラバラになっているが、ある程度整理しなければならないなどの課題が残っている。学校は未だにアナログな部分がある。例えば、出勤簿に判子が必要であったり出張命令簿を紙に書いていたり等。そういったところの教員の働き方改革のデジタルトランスフォーメーションの部分が必要である。一方、お金がかかるということもある。理想を描きつつ、どのように進めていくべきかという計画が必要だ。

木下教育長

英語をどのように学んでいくかを考えたときに、紙の教科書の方が効率が良いということでは困る。ログインに時間がかかる。故障してなかなか立ち上がらない。そのせいでデジタル教科書が使われずに、紙になってしまう。そうならないためには、子どもにも先生にも使い勝手が良いものでないといけない。その辺りを研究しないと乗り遅れてしまう。それから、公平性の確保。来年度に中学校の教科書採択を控えているが、発行者と校長とのやり取りの中で、教科書が不合格になって発行停止になってしまうと、その教科は教員が一から教材研究をしないといけなくなる。それには膨大な時間がかかる。そのようなことを考えたときに、この行動規範は徹底しなければならない。現に何年前にも同じよう

なことがあったが、某市はまた同じことを繰り返した。だからその辺りを十分配慮して周知していただきたい。

(9) 報告第3号(専決第6号)の承認(日程第7)

秘密会での審議の後、全委員一致で、報告第3号「教育長の委任事項並びに専決事項に関する規則第2条第2項の規定による専決処分報告について」の専決第6号「伊丹市青少年問題協議会委員の委嘱または任命について」を承認。

(10) 報告第3号(専決第7号)の承認(日程第8)

秘密会での審議の後、全委員一致で、報告第3号「教育長の委任事項並びに専決事項に関する規則第2条第2項の規定による専決処分報告について」の専決第7号「伊丹市子ども・子育て審議会委員の委嘱または任命について」を承認。

(11) 報告第3号(専決第8号)の承認(日程第9)

秘密会での審議の後、全委員一致で、報告第3号「教育長の委任事項並びに専決事項に関する規則第2条第2項の規定による専決処分報告について」の専決第8号「伊丹市地域学校協働活動推進員の委嘱について」を承認。

(12) 報告第3号(専決第9号)の承認(日程第10)

秘密会での審議の後、全委員一致で、報告第3号「教育長の委任事項並びに専決事項に関する規則第2条第2項の規定による専決処分報告について」の専決第9号「伊丹市立図書館協議会委員の委嘱について」を承認。

(13) 報告第3号(専決第10号)の承認(日程第11)

秘密会での審議の後、全委員一致で、報告第3号「教育長の委任事項並びに専決事項に関する規則第2条第2項の規定による専決処分報告について」の専決第10号「伊丹市スポーツ推進審議会委員の委嘱について」を承認。

(14) 議案第23号の審議(日程第12)

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第23号 伊丹市教育支援委員会委員の委嘱または任命について」を可決

(15) 議案第24号の審議(日程第13)

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第24号 学校運営協議会委員の委嘱または任命について」を可決

(16) 議案第25号の審議(日程第14)

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第25号 伊丹市スポーツ推進審議会委員の委
嘱について」を可決

(17) 閉会宣言 木下教育長(午後3時20分)

上記のとおり会議の要旨を記録し、ここに署名押印する。

伊丹市教育長 木下 誠

伊丹市教育委員会委員 太田 洋子